

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

リョービ株式会社 広島工場

(2) 事業所の所在地

広島県府中市目崎町762

(3) 業種

2434 アルミニウム・同合金ダイカスト製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、西暦2013年度を基準年度とし、2016年度から2020年度までの5年間とする。

### 3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実績 排出量 (a)		目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)		計画期間の実績 (上段：実排出量 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))							
	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度
エネルギー 起源CO <sub>2</sub>			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー 起源CO <sub>2</sub>			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス みなし排出量												
実績に対する自己評 価												

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

铸造：生産重量(t)、金型：加工工数(h)

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a)	目標年度 上段：目標 (b) 下段：削減率 (c)		計画期間の実績 (上段：原単位実績 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
		2013年度	2020年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
エネルギー 起源CO <sub>2</sub>	铸造	1.6121	1.5453 -4.1	1.7148 -6.4	1.6480 -2.2	1.4717 8.7	100.0	100.0
	金型	0.0166	0.0127 -23.5	0.0138 16.9	0.0129 22.3	0.0125 24.7	100.0	100.0
非エネルギー 起源CO <sub>2</sub>			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 排出量総計			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
エネルギー消費原単位 (原 油換算kl)	641.60	638 -0.6	721.8 -12.5	728.1 -13.5	663.6 -3.4	100.0	100.0	
実績に対する自己評 価	CO <sub>2</sub> 排出比率は、铸造=85.6%、金型=14.4%であり、原単位の対基準年度比を加重平均すると11.1%の削減である。							

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	電力使用量の削減	原油換算値で 44KL/年	トランス（受電設備）を高効率タイプに更新する。（8台）
2	電力使用量の削減	原油換算値で 34KL/年	鑄造機保持炉の更新
3	電力使用量の削減	原油換算値で 1KL/年	2号館蛍光灯のLED化（50台）
4	電力使用量の削減	原油換算値で 13KL/年	集塵機（灰絞り機用）の更新

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。